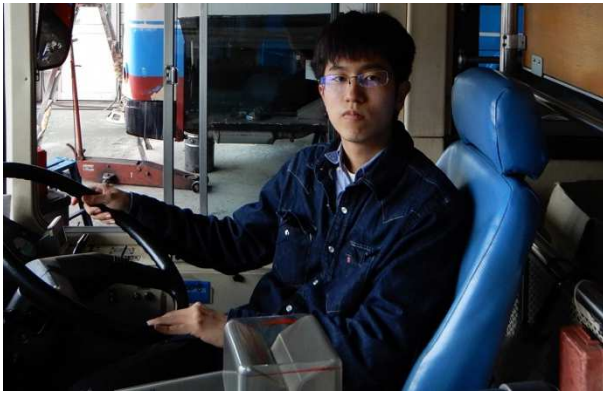


たびぶたい・のりもの塾





塾長 菊池将成

■ 塾長コメント ■

この街はバスを通してもっとブランディングできると考えています。おかげさまで長崎のバスにまつわる活動は反響いただき、テレビでも2度取り上げていただきました。某100円ショップでの47都道府県エコバックには長崎県版ではバスのイラストが掲載されていました。しかしながら、バスの魅力発信、バスを通した長崎観光がどれほど長崎の地域のプラスの効果をもたらしているのか自身でも疑問に思う点があります。「長崎市内バス全線乗車券」のようなものを発売し、その券を提示すれば長崎市内にある地元の名店が1割引で食べられる、お土産ショップで限定品が買えるなどを行うことなどができれば、長崎のバス観光客の波及効果をもたらすことができると考えています。現在バスを目当てに長崎に来た観光客は東京資本のコンビニで昼食を購入し、長崎市の公衆トイレを使用しその維持費は税金で賄われ、バスの写真はレンタカーでまわって撮るという、もはや長崎市の経済になんのメリットのない状況にあるかと思います。せいぜい長崎にもたらしたのは関係店のアルバイトの給料でしょうか。このような問題点を解決するために、来年度以降活動の意義を評価できるレベルにまで活動を進化させたいと思います。

■ 塾の目的 ■

長崎のバスの魅力を、バスから見る長崎の魅力を発信する。この二つが大きなテーマです。長崎は何の町かと聞かれて、多くの人がカスタラやちゃんぽんを思い浮かべるでしょう。しかし興味深い統計があります。長崎は単位人口あたりのバスの台数が長崎県は日本一なのです。では、長崎のバス会社が余分にバスを保有しているのか。そうでもないようです。一家庭あたりのバス運賃出費額は長崎市が全国一位。では長崎のバス会社が運賃を高く設定しているのではないか。9年ほど前まで長崎市の民間バス会社の初乗り運賃は全国で一番安かったそうです。つまり長崎は疑いようのない日本一のバスの街なのです。この統計を聞いても長崎でバス町おこしをすることに納得できない人もいるかもしれません。質の面でも長崎が日本一のバスであることを紹介しましょう。多くのバスが熱機関を4~6個搭載しています。しかし長崎には路線バスで8個も搭載しているバスが存在するのです。多くのまちでこの車両は全滅、もしくは県で最後の2台、あるいは1台が現役ということが多くですが、長崎では200台ほど現役で活躍しています。坂の街を支えるために長崎ではバスにも独特の文化が育まれてきたようです。さらに市街地の三方を山に囲まれ、多くの郊外を結ぶ路線で街を見下ろす景色、もしくは美しい海を楽しむことができます。量、質の両面で日本一の長崎のバス加えてバスから見る美しい長崎の魅力を。長崎がバスの聖地となり、多くのバスファンが訪れるように。普段バスに興味のない人もバスを身近に感じてもらい、楽しんでもらう。それがこの塾の願いです。

■ 塾の研究・活動内容 ■

長崎のバスの魅力を体感してもらうバスツアーの開催、フォトコンテストの開催、などを軸に活動しています。もちろん、日々の長崎のバスの魅力を SNS で発信することも重要な活動内容の一つです。先述の通り、長崎にはバスファン垂涎の魅力を持つバスが多数存在します。また絶景と絡めてバスの写真を撮ることが出来ます。そういったバスの魅力をどのように発信するのが正解なのかも議題の一つです。

■ 塾活動の成果 ■

塾活動の一番の大きな成果として、令和 4 年 9 月に東長崎地区を巡るバスツアーを開催しました。日本一のバスの街長崎と先述しましたが、長崎のバスも新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けました。旧来は長崎県交通局(県営バス)の運行範囲であった東長崎地区に、約 10 年前に長崎バスが新たに参入。競争が激化し、これにより長崎市街中心部～矢上をはじめとした東長崎地区の運賃をほぼ半額にまで下降しました。「日見トンネルを越えると運賃が鰻登り」と言われた東長崎地区のバス運賃の歴史に大きな転機となりました。市内でも珍しい、長崎市内を支える二つのバス事業者がほぼ同じような割合でバスを見ることのできる地区となりました。長崎バスは矢上地区に「東長崎営業所」を開設。地方交通では 2010 年代に珍しい、統廃合ではなく完全に新しい営業所の誕生となりました。車両も新車のみならず、営業所の開設に間に合わせるために中古車を追加投入するほどでした。東長崎進出から 7 年ほど経った 2020 年、新型コロナウイルス感染症の爆発的流行が長崎を覆います。競合状態にある地区を整理し、一社独占の地域とし、長崎バスは東長崎地区から撤退することになりました。東長崎地区には、他地区の住宅街よりも平地の住宅街

が多く、他の地区とも趣の異なる写真を撮ることが出来ます。またこの路線再編に伴い、50 年近い歴史を持つ茂木～太田尾、東長崎進出の契機となった太田尾～潮見町(春日の少し奥)は路線の廃止、バスが走ることのない道が誕生することになりました。それらの区間では、橘湾の穏やかな海を見下ろすことが出来ます。この地域でも海岸線に向かって丘陵がせり出しており、まるで海につながる山の法面を走っているかのような区間も見られます。このような区間では坂道を登るバスを、海を背景に壮大な写真を撮ることも出来ます。しかし、海のみならず、路線沿線にはビニールハウスや畑と農業も盛んに行われており、そのようなのどかな風景とバスを絡めて撮ることも出来ます。失われつつある長崎のバスの走る風景を記録することを目的に開催しました。車両は路線バスタイプの車両を貸し切り、路線バスを擬似体験するような形で開催しました。車内では実際の車内音声と同じ声で作成した車内放送。今自分がどこを走っているかを把握するための試みでした。台風のため一週間延期しての開催でしたが、東長崎営業所発の田上行き最後の一番と共演することができました。令和 5 年 3 月にはバスフォトコンテストながさきを開催。バスの写真のみを受け付ける異色のフォトコンテストで、長崎の美しい景色を背景に走るバスの写真を題材にしたものです。二週間ほどの応募期間にも関わらず、100 件近いご応募をいただき、皆さまの日頃からのバスへの想いにただ感嘆するばかりでした。バスを通して長崎という街はもっとブランディングできるものと思っています。1 年目のスケジュール感に慣れないこともあり、十分に活動することができなかった 1 年間でしたが、2023 年度は長崎のバス、ひいてはこの街の発展により貢献できればと考えています。

たびぶたい のりもの塾 活動記録

日 時	場 所	内 容
令和4年		
5月14日(土)	市民活動センターランタナ	イベント概要打ち合わせ
6月4日(土)	市民活動センターランタナ	イベント概要打ち合わせ
6月11日((土)	市民活動センターランタナ	イベント概要打ち合わせ
7月2日(土)	市民活動センターランタナ	イベント概要打ち合わせ
7月16日(土)	市民活動センターランタナ	イベント概要打ち合わせ
7月23日(土)	オンライン会議	イベント概要打ち合わせ
7月26日(火)	オンライン会議	イベント概要打ち合わせ
7月30日(土)	市民活動センターランタナ	イベント概要打ち合わせ
8月20日((土)	市民活動センターランタナ	イベント準備
8月27日(土)	市民活動センターランタナ	イベント準備
8月31日(水)	市民活動センターランタナ	イベント準備
9月3日(土)	市民活動センターランタナ	イベント準備
9月10日(土)	市民活動センターランタナ	イベント準備
9月17日(土)	LINE 電話上	イベント打ち合わせ
9月25日(日)	バスツアー車内	東長崎ラスロランバスツアー開催
10月10日(月)	市民活動センターランタナ	イベント概要打ち合わせ
10月24日(月)	LINE 電話上	イベント概要打ち合わせ
11月5日(土)	市民活動センターランタナ	イベント概要打ち合わせ
11月19日(土)	LINE 電話上	イベント概要打ち合わせ
11月27日(日)	市民活動センターランタナ	イベント概要打ち合わせ
12月10日(土)	LINE 電話上	イベント概要打ち合わせ
12月17日(土)	市民活動センターランタナ	イベント概要打ち合わせ

日 時	場 所	内 容
令和5年		
1月21日(土)	市民活動センターランタナ	イベント概要打ち合わせ
1月29日(日)	LINE 電話上	活動在り方検討会
2月4日(土)	市民活動センターランタナ	イベント準備
2月18日(土)	LINE 電話上	フォトコンテスト準備
3月14日(火)	LINE 電話上	イベント準備
3月18日(土)	ベルナード観光通り	伝習所まつり開催
3月26日(日)	市民活動センターランタナ	フォトコンテスト写真選定

■ SNS での長崎のバスの魅力発信



まだ発展途上のアカウントですが、長崎のバスの魅力について隔日で発信しています。また、ちょっとした長崎のバスの出来事についてもまとめて投稿しています。塾活動の期間に西九州新幹線の部分開業、長崎市内バス事業者2社局の共同経営と大きな出来事がありました。また大型路線バスとしては6年ぶりに新車が導入されました。ハイブリッドバスは長崎市内で17台が走行しており、九州の自治体では最大の数になります(令和5年3月現在)。その新型車両の乗車レポートを投稿したこともありました。またイベント告知もこちらで行っており、毎度お陰様で一定の反応を獲得しています。



■東長崎ラストランバスツアーの開催

先述の通り、東長崎地区では長崎市内2事業者による競合状態にバスはありました。しかしコロナ禍の状況を鑑み、経営統合が行われることとなり、一社は東長崎地区から撤退することとなりました。加えて、潮見町～太田尾(山川河内橋)間は代替交通もなく、路線バス網は寸断されることになりました。この区間が大変風光明媚なもので、片方は海に、片方はビニールハウス並ぶ集落に囲まれ、山地と、海原と、視点を変えるだけで両方を背景にした写真を撮れるという不思議な区間でした。長崎市内で街一帯水色のバス停とトリコロールのバス停が並ぶというのも見られなくなりました。強いていうのであれば滑石団地地区でしょうか。失われつつある長崎のバスの日常を記録するための開催であり、このような美しい景色が長崎のバスには広がっているのかと知ってもらうことを目的にしました。





↑ 春日大石バス停での撮影。塾生の推薦による撮影スポットでした。



↑ 使用車両は路線バスに忠実に。路線バスタイプの車両を貸し切りしました。一部板張りの車内。前後に間隔の開いた扉の配置と、全国的には珍しくなった長崎のあたりまえが詰まっています。ちなみにツアーの申し込み定員倍率は 1.5 倍。人気企画となりました。



↑ 終点でバスをお見送り。長崎バス観光様の多大なるご支援のおかげで開催できました。このツアーを最後に 1421 号車は引退しました。



↑ バスの行き先を塾生でレプリカを作成、貼り付け。路線バスから引退し、貸切バスに転用された車両でしたが、現役さながらの雰囲気を出すことができました。

■バスフォトコンテストながさきの開催

長崎市内で撮影したバスの写真コンテストを開催しました。5 個の受賞枠に対し、100 件近い写真のご応募いただきました。さらに大変技巧に富んだ美しい写真をご応募いただき、塾生一同 2 時間ほど時間をかけて写真を選定いたしました。このフォトコンテストの写真を撮るためにバスを使って市内を移

動、フォトコンテストの写真を見て長崎にこんな素敵な場所があったのか知ってもらおう。今度は自分も撮りたいとその場所に行ってもらえれば。そのようなことを目指し開催しました。

【最優秀賞】



↑ノリモノノリダー様撮影 「夏の風物詩」
AO に印刷して飾りたいくらいの素晴らしい写真です。精霊流しの日の崇福寺入り口で折り返し運転するバス、その誘導をする長崎バスの従業員様を撮影した一枚です。



↑ひで様撮影「外海の家」

80年代初頭まで製造された丸っこいバス(モノックバス)を捉えた一枚です。強く坂を駆け上がる様子を捉えています。背景に海が大きく映っていることがお分かりいただけるでしょう。海岸線近くを走り道の傾斜がきついためこそ撮れる写真であり、ながさきならではの一枚と言えるでしょう。



↑ペねろペ様撮影 「日常」

狹隘路線(狭い道を走る路線バス)が多数存在する長崎市。昔ながらの住宅街をバスが進む。茂木で捉えられた一枚です。



↑さすらいだーさん撮影 「ココウォーク観覧車と県営 7B11」

現在は大村営業所に移籍した同車両。長崎市内屈指の急坂路線として知られる目覚町・立山線一枚です。早朝一本のみ存在する長崎東高行き。二重に貴重な一枚です。



↑ Nagalog3 さん撮影 「ピワの季節」

言わずと知れた名産品、枇杷の産地長崎・茂木で撮影された一枚です。枇杷の木一面に広がる産地を切り裂くように走るバス一台。長崎市内の商業施設「ココウォーク」の観覧車のゴンドラがオレンジ色なのは枇杷をイメージしていると言われています。二重に「ピワ」の一枚。美しい四季の情景に囲まれながら長崎のバスは走ります。

ここまでは受賞作品のみ紹介しましたが、意外にも多数の作品をご応募いただきました。傑作揃いでした。他の素晴らしい作品をのりもの塾 Twitter アカウントで投稿しております。ぜひご覧ください。

スケジュール管理が十分でなかったこともあり、塾長自身あまり十分な活動を広げられた自信がありません。しかしながら、某大手乗り物のニュースを届けるサイトで長崎の狭隘路線バスが特集され、某 100 円ショップの各都道府県限定販売の絵柄の書かれた「47 都道府県エコバック」の長崎版の絵柄は長崎のバスでした。「長崎をバスの聖地へ」今後ともよろしくお願いいたします。

たびぶたい・のりもの塾

塾長	菊池 将成				
1	井出 翔馬	21		41	
2	溝口 勝則	22		42	
3	西村 和陽	23		43	
4		24		44	
5		25		45	
6		26		46	
7		27		47	
8		28		48	
9		29		49	
10		30		50	
11		31		51	
12		32		52	
13		33		53	
14		34		54	
15		35		55	
16		36		56	
17		37		57	
18		38		58	
19		39		59	
20		40		事務局員	まちづくり部 菊川 玲奈